

CEFR-J レベル

PreA1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についてのごく限られた情報（名前、年齢など）を伝えることができる。

テスト・タスク

あなたは外国への修学旅行で現地の学校を訪問しています。生徒間の交流を目的に、5～6人のグループに分かれ、一人ずつ自己紹介をすることになりました。自分の名前、好きなもの、得意なことなどについて、簡単に話してください。

準備時間は30秒、話す時間も30秒です。

解答例

- Hi. I'm Asami. I like tennis.
- I...Asami. Thirteen years old.
- My name...Asami. I play guitar.

採点基準

A: 自分についての情報を伝えられる（例：名前と自分に関する情報を2～3点程度）。

B: 自分についてのごく限られた情報を伝えられる（例：名前と自分に関する簡単な情報をひとつ程度）。

C: 自分について何か言っているものの、言葉が足りない、内容に不明瞭な点があるなどの理由で、情報が部分的にしか伝わらない。

D: 自分についての情報をほとんど何も伝えられない。

（A：当該レベルより上、B：ちょうど当該レベル、C：当該レベルに少し届かない、

D：当該レベルに全く届かない）

開発段階

第1期（作成） 第1期（実施） **第1期（分析）**

第2期（改訂） 第2期（実施） 第2期（分析）

メモ

語・句単位で意味をなす発話が成り立っていてタスクを遂行できていれば、必ずしも発話が文になっていなくてもB評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。

開発担当者

和泉 絵美

CEFR-J レベル

PreA1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。

テスト・タスク

ALT の先生の授業で、「お気に入りの物 (my favorite item / thing)」を紹介することになりました。お気に入りの物は、本・文房具・服・小物など、何でもかまいません。説明する際、そのお気に入りの物が手元にあるつもりで、指し示しながら話してください。準備時間は 1 分、話す時間は 30 秒です。

解答例

- This basketball. I use long time.
- My pen. This color...good.

採点基準

- A: お気に入りの物を見せながら、それに関して説明できる (例: 物の名前と、誰にもらったか、なぜ好きか、特徴の説明などの情報を 2~3 点程度)。
- B: お気に入りの物を見せながら、それに関して簡単に説明できる (例: 物の名前と、誰にもらったか、なぜ好きか、特徴の説明など情報をひとつ程度)。
- E: お気に入りの物に関して何か言っているものの、言葉が足りない、内容に不明瞭な点があるなどの理由で、情報が部分的にしか伝わらない。
- C: お気に入りの物に関してほとんど何も説明できない。
(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、
D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) 第 2 期 (分析)

メモ

語・句単位で意味をなす発話が成り立っていてタスクを遂行できていれば、必ずしも発話が文になっていなくても B 評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B 評価である。

開発担当者

和泉 絵美

CEFR-J レベル

A1.1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報（家族や趣味など）を伝えることができる。

テスト・タスク

ALT の先生の授業で、「私の大切な人（an important person in my life）」についてショートスピーチをすることになりました。家族、友人など身近な人から 1 人を選び、その人について話してください。準備時間は 30 秒、話す時間も 30 秒です。

解答例

- An important person in my life is my friend, Yuki. She is very kind and always help me.
- My mother. She work hard. I… buy a gift for her… say “Thank you”.
- My brother is important for me. He is good at football…so cool. We always play together.

採点基準

A: 大切な人に関して説明（その人物の名前や属性、性格、自分との関わりなどをいくつか挙げつつ、一部について少し詳しく説明）できる。

B: 大切な人に関して簡単に説明できる（その人物の名前や属性、性格、自分との関わりなどを 2～3 点程度）。

C: 大切な人に関して何か言うものの、情報が乏しい、言葉が足りない、説明に不明瞭な点があるなどの理由で、説明が断片的にしか伝わらない。

D: 大切な人に関してほとんど何も説明できない。

（A：当該レベルより上、B：ちょうど当該レベル、C：当該レベルに少し届かない、

D：当該レベルに全く届かない）

開発段階

第 1 期（作成） 第 1 期（実施） 第 1 期（分析）

第 2 期（改訂） 第 2 期（実施） 第 2 期（分析）

メモ

語・句単位で意味をなす発話が成り立っていてタスクを遂行できていれば、必ずしも発話が完全な文になっていなくても B 評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B 評価である。

開発担当者

和泉 絵美

CEFR-J レベル

A1.1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

基礎的な語句、定型表現を用いて、簡単な情報（時間や日時、場所など）を伝えることができる。

テスト・タスク

あなたは外国への修学旅行で現地の学校を訪問しています。生徒間の交流を目的に、5～6人のグループに分かれてお互いの日常生活について紹介し合うことになり、あなたは自分の平日の朝のスケジュールについて話すことにしました。起床、朝食、準備、登校、授業開始など、何時ごろに何をするか、簡単に説明してください。準備時間は30秒、話す時間も30秒です。

解答例

- I get up at seven thirty. I eat morning...from seven forty. I go to school at eight ten. Study start... eight forty-five.

採点基準

A: 何時に何をするかという基本情報に少し詳細（行動に関する補足説明など）を加えつつ、きちんとした時系列で説明ができる。

B: 何時に何をするか、簡単な行動内容をきちんとした時系列で伝えられる。

C: 朝のスケジュールについて何か言うものの、時系列や行動内容の説明に不明瞭な点があるなどの理由で、部分的な情報しか伝わらない。

D: 何時に何をするかほとんど何も伝えられない。

(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、

D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期（作成） 第1期（実施） 第1期（分析）

第2期（改訂） 第2期（実施） 第2期（分析）

メモ

語・句単位で意味をなす発話が成り立っていてタスクを遂行できていれば、必ずしも発話が完全な文になっていなくてもB評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。

開発担当者

和泉 絵美

CEFR-J レベル

A1.2

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い（原文ママ）、簡単な意見を言うことができる。

テスト・タスク

お世話になった ALT の先生が帰国することになり、あなたが入っている国際交流クラブで、お別れのプレゼントを贈ることになりました。候補としてお箸（chopsticks）と浴衣（yukata）があがっています。あなたはどちらがよいと思いますか。理由をそえて述べてください。準備時間は 1 分、話す時間は 30 秒です。

解答例

I think chopsticks make a nice gift. She loves Japanese food, so she will use them every day.

採点基準

- A: 簡単な構文を用いて、贈り物を選んだ理由を述べている。誤りがあっても意思疎通にほとんど影響がない軽微なものである。
- B: 簡単な構文を用いて、贈り物を選んだ理由を述べている。意味は伝わるが、誤りや日本語の混在により、聞き手に多少負担がかかる。
- C: 贈り物を選んだ理由について、何か話そうとしているものの、理由になっていない。
- D: どちらの贈り物を選んだか述べているが、その理由を述べていない。
- (A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第 1 期（作成） 第 1 期（実施） 第 1 期（分析）

第 2 期（改訂） 第 2 期（実施） 第 2 期（分析）

メモ

採点基準を満たしていれば、必ずしも 30 秒間話し続ける必要はない。なお解答例を、聞き手が多少努力すれば理解できる程度の発音で話せれば、A 評価である。

開発担当者

高田 智子

CEFR-J レベル

A1.2

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い（原文ママ）、簡単に描写することができる。

テスト・タスク

あなたは英語の授業で、ALT の先生に日本の食べ物について紹介することになりました。そこであなたは、牛丼について話すことにしました。牛丼がどんな食べ物であるか、簡単に説明してください。準備時間は 1 分、話す時間は 30 秒です。

解答例

例 1 : *Gyudon* is (a bowl of) rice with (sliced) beef and onion on the top. It's sweet and salty.

例 2 : *Gyudon* is rice and beef. It is cooked in soy sauce and sugar.

採点基準

- A: 牛丼について、簡単な構文を用いて、それを知らない人にわかるように説明できる。誤りがあっても意思疎通にほとんど影響がない。
- B: 牛丼について、簡単な構文を用いて説明している。意味は伝わるが、誤りや日本語の混在により、聞き手に多少負担がかかる。
- C: 牛丼について何か話しているものの、求められた説明になっていない。
- D: 牛丼について、ほとんど何も説明できない。
- (A : 当該レベルより上、B : ちょうど当該レベル、C : 当該レベルに少し届かない、
D : 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) **第 2 期 (実施)** 第 2 期 (分析)

メモ

採点基準を満たしていれば、必ずしも 30 秒間話し続ける必要はない。なお解答例を、聞き手が多少努力すれば理解できる程度の発音で話せれば、A 評価である。

開発担当者

高田 智子

CEFR-J レベル

A1.3

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。

テスト・タスク

英語の授業でディベートをすることになりました。宿題を出さない小学校が紹介され、宿題を出すべきかどうか討論します。あなたはどのように思いますか。意見を述べてください。準備時間は2分、話す時間は1分です。

解答例

I think elementary school students should have homework. Children learn reading, writing, and other basic skills in elementary school. If they don't have homework, they will not study at home and they will forget what they learn at school.

採点基準

A: 複数の文で、一貫性のある意見を述べている。誤りがあっても意思疎通にほとんど影響がない。

B: 複数の文で、一貫性のある意見を述べている。意味は伝わるが、誤りや日本語の混在により、聞き手に多少負担がかかる。

C: 意見を言っているが、沈黙の時間もあり、情報量が少ない。

D: 意見をほとんど何も伝えられない。

(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、

D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) **第1期(分析)**

第2期(改訂) 第2期(実施) 第2期(分析)

メモ

採点基準を満たしていれば、必ずしも30秒間話し続ける必要はない。なお解答例を、聞き手が多少努力すれば理解できる程度の発音で話せれば、A評価である。

開発担当者

高田 智子

CEFR-J レベル

A1.3

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い（原文ママ）、複数の文で描写できる。

テスト・タスク

あなたは、夏休みの海外語学研修で英語学校に通っています。クラスメートたちは、日本の中学生の生活について関心を示しています。そこであなたは、日本の学校の文化祭について話してあげることになりました。文化祭がどのような行事なのか説明してください。準備時間は2分、話す時間は1分です。

解答例

One of the popular school events is a school festival. Students perform music, dances, and plays, or show their art works. Friends and family are invited. People in the community are also invited. Students spend many weeks to prepare for the festival to show part of their school life.

採点基準

- A: 文化祭について、それを知らない人にわかるように、複数の文で描写している。誤りがあっても意思疎通にほとんど影響がない。
- B: 文化祭について、複数の文で描写している。意味は伝わるが、誤りや日本語の混在により、聞き手に多少負担がかかる。
- C: 文化祭について描写しているが、沈黙の時間もあり、情報量が少ない。あるいは、文化祭について描写しているが、その特徴を伝えていない。
- D: 文化祭について、ほとんど何も伝えられない。

(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、
D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期（作成） 第1期（実施） 第1期（分析）

第2期（改訂） 第2期（実施） 第2期（分析）

メモ

採点基準を満たしていれば、必ずしも30秒間話し続ける必要はない。なお解答例を、聞き手が多少努力すれば理解できる程度の発音で話せれば、A評価である。

開発担当者

高田 智子

CEFR-J レベル

A2.1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。

テスト・タスク

あなたは、夏休みの海外語学研修で英語学校に通っています。学校での初日、あなたはクラスで簡単な自己紹介をしました。翌日、今度は全クラス合同の集会で自己紹介をします。今日クラスで話したことをより詳しく、趣味や特技について話してほしいとリクエストされています。趣味や特技を始めた時期、きっかけ、活躍の記録や楽しみ方などについて、話してください。準備時間は 30 秒、話す時間は 1 分です。

解答例

My name is Momoko. I have been interested in watching stars since I was in the first grade. My elementary school held a star watching event in October every year. This event always started with a lecture by a staff member from the science museum. He told us how stars are formed, how far the moon is from the earth and much more. Then, we went out in the schoolyard, lay on the ground, and watched the stars. I was fascinated by the mysteries of space. That's how I came to like star watching.

採点基準

- A: 一連の簡単な語句や文を使って、趣味や特技について話している。始めた時期、きっかけ、活躍の記録や楽しみ方などについて触れている。この話題によく用いられる決まり文句や文型をかなり正確に使い、接続表現も使ってまとまりのある話ができる。
- B: 一連の簡単な語句や文を使って、趣味や特技について話している。始めた時期、きっかけ、活躍の記録や楽しみ方などについて、ある程度触れている。基本的な誤りが決まったところで出てくるが、and, but, so などの接続表現を適切に使ってまとまりのある話ができる。
- C: 趣味や特技について話しているが、情報量が乏しい。趣味や特技を始めた時期、きっかけ、活躍の記録や楽しみ方などについて、あまり触れていない。発音や文法の誤り、日本語の使用などにより、聞き手に負担を与えることがある。
- D: 趣味や特技について、ほとんど何も話していない。あるいは話しているものの、文法や語彙選択に関する基本的な誤りが繰り返し起こり、内容が伝わらない。
- (A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、
D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) **第 2 期 (実施)** 第 2 期 (分析)

メモ

解答例を理解できる発音で、目立った休止なく話せれば、A 評価である。

開発担当者 高田 智子

CEFR-J レベル

A2.1

技能

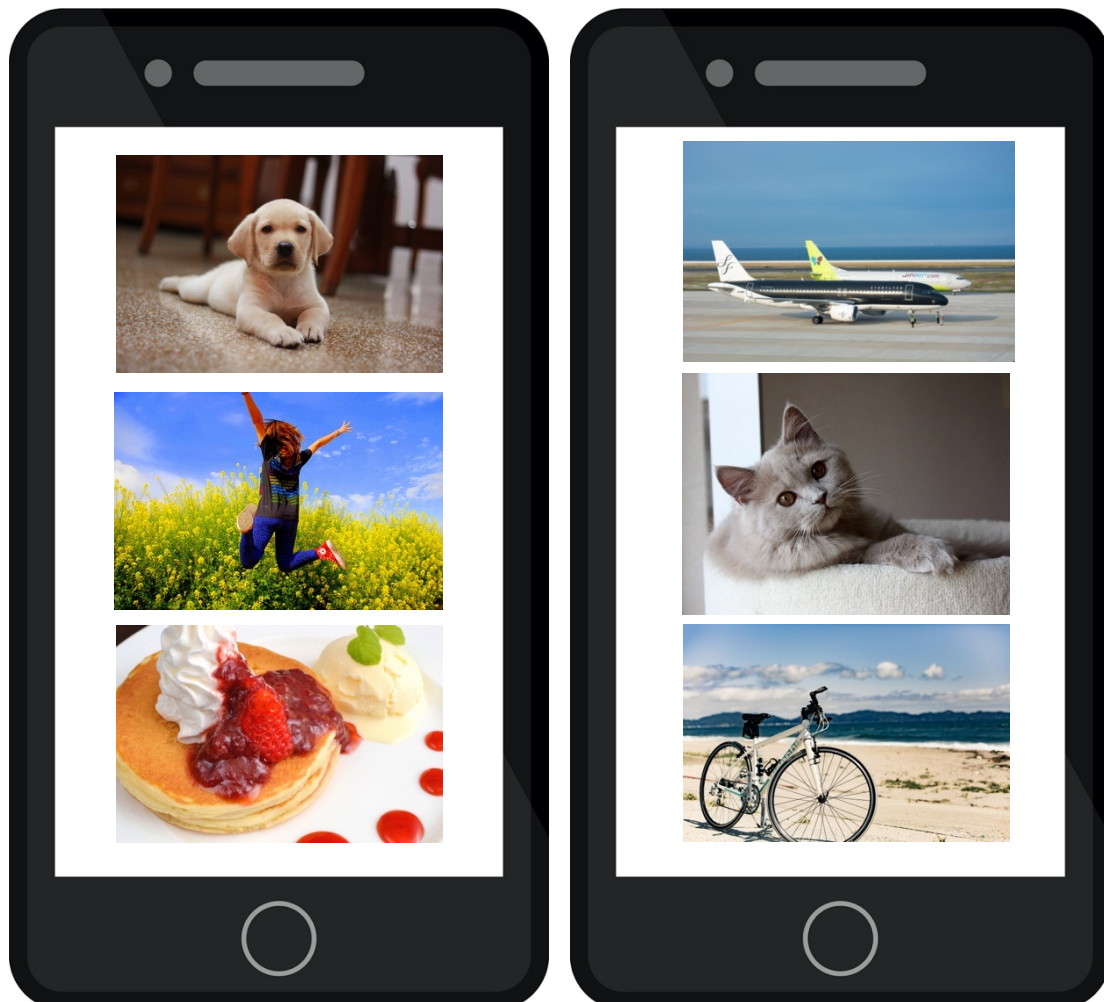
Spoken Production

Can Do descriptor

写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、身近なトピック（学校や地域など）について短い話をするができる。

テスト・タスク

あなたは、学校で留学生との交流クラブに入っています。ある日、クラブの部室に居合わせた 5～6 人との会話中、お互いのスマホの写真を見せ合うことになりました。下記の図をあなたのスマホ画面と仮定し、一番見せたいと思う写真をひとつ選んでそこに写っている人・物・出来事などについて話してください。内容は、架空のものでもあなたの実際の体験に基づくものでも、どちらでも構いません。準備時間は 1 分、話す時間も 1 分です。



解答例

- I have a dog. His name is Taro. He came to my house ten years ago when he was just a baby. I grew up with him. He is so smart and quiet, and all of my family members love him, but I believe I'm his best friend.
- I like cooking. I often cook something on weekends. Last week, I made pancake for my family. Now pancake is very popular among girls in Japan and we can find many pancake restaurants. As you can see, I added strawberries and ice cream, too. It tasted so nice, so my family liked it very much.

採点基準

A: 文を使って事物を詳しく描写したり、関連するエピソードやその事物に対する感想や感情を表現豊かに説明するなどして、よくまとまった短い話をするができる。

B: 文を使って事物を簡単に描写したり、関連するエピソードやその事物に対する感想や感情を適切に説明するなどして、ある程度まとまりのある短い話をするができる。

C: 事物について話しているものの、断片的な事柄について言及するのみで話にまとまりがない、または写真紹介として十分な情報提供ができない。もしくは、つながりのある話をしようとしているものの、言葉が足りない、表現が不適切などの理由でまとまった内容が伝わらない。

D: 断片的な事柄さえも伝えられない。

(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、

D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析)

第2期(改訂) **第2期(実施)** 第2期(分析)

メモ

一部断片的な単語の羅列があってもいいが、句や文を中心に発話が成り立っていることをB評価の条件のひとつとする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。

開発担当者

和泉 絵美

CEFR-J レベル

A2.2

技能

Spoken Production

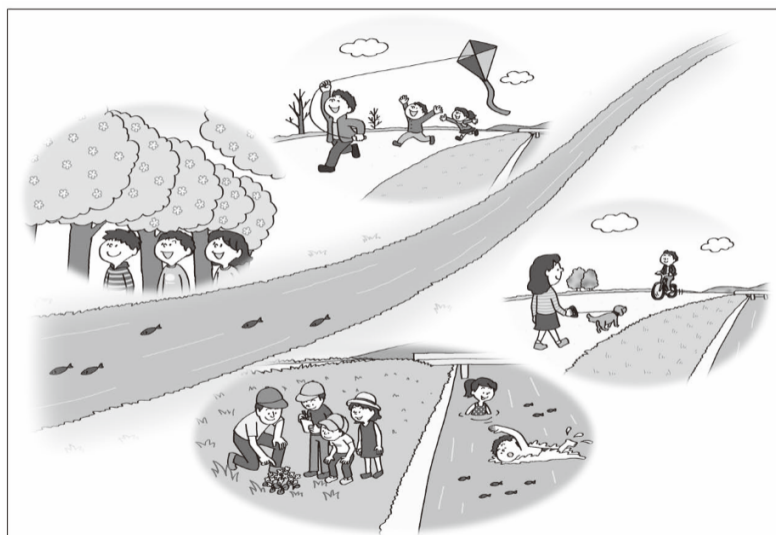
Can Do descriptor

写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック（自分のこと、学校のこと、地域のことなど）について、短いスピーチをすることができる。

テスト・タスク

あなたは、夏休みの海外語学研修で英語学校に通っています。ある日この学校で、各国の留学生たちが集まる交流会に参加しました。参加者はそれぞれ、自分が母国で住んでいる町について、短いスピーチをすることになりました。下記の絵は、町の様子がより伝わりやすくなるよう、あなたが描いたものです。これを聞き手に見せながら、1分間のスピーチをしてください。

準備時間は3分、話す時間は1分です。



解答例

I lived in a quiet town in the suburbs of Tokyo. It is rich in nature. There is a river with open fields on both sides. It is a popular recreation spot for people in the town. Some walk their dogs and others enjoy cycling. In spring, people go there for cherry blossom viewing. In summer, the town holds nature events for school children. When I was in elementary school, I joined one of them with my friends. We walked along the river with a volunteer guide, and she showed us plants, flowers, and insects there. It is one of the good memories of my childhood.

採点基準

- A: 住んでいる町について簡単な概要を述べてから、絵を用いて少し詳しく話している。and, but, because などの簡単な接続表現などを使って、聞き手に配慮しながら、まとまりのある話ができる。自分の生活に直接関連のある話題でよく使われる語彙や文型をかなり正確に使える。言いよどみや言い直しはあるが、わかりやすく話を進めることができる。
- B: 住んでいる町に関する要点を伝えることができる。and, but, because などの簡単な接続表現などを使って、絵をたよりに話している。まだ基本的な誤りが決まったところででてくるが、覚えた語句や言い回しを使い、単純な文構造は正しく用いて、情報を伝えることができる。休止や言い直しが見られる。

C: 住んでいる町について絵をたよりに話しているが、断片的で十分ではない。発音や文法の誤り、日本語の使用などにより、聞き手に負担を与えることがある。表現を探したり、発言を修正するためにつっかえながら話す。

D: 住んでいる町について、ほとんど何も話していない。あるいは話しているものの、文法や語彙選択に関する基本的な誤りが繰り返し起こり、内容が伝わらない。

(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、

D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析)

第2期(改訂) **第2期(実施)** 第2期(分析)

メモ

内容が十分で約40秒以上話せていればAもしくはB評価とする。なお、解答例を理解できる発音で、目立った休止なく話せれば、A評価である。

開発担当者

高田 智子

CEFR-J レベル A2.2
技能 Spoken Production
Can Do descriptor 一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べるができる。
テスト・タスク あなたは、学校で留学生との交流クラブに入っています。このクラブでは、月に一度交流会を開き、留学生との交流を深めています。今日は、次の交流会で何をするか、みんなで話し合いをしています。そこで、リーダーより次のような問いかけがありました。 “What will we do for our next event? We have three choices: a day trip to a countryside, a lunch party, and a sports event. Choose one of these three activities and explain why you think it is good for our next event.” あなたはこの問いかけにどう答えますか？ざっくりばらんな話し合いの中で発言していると想定して、英語で話してください。準備時間は3分、話す時間は1分です。
解答例 - Let's go on a day trip to a countryside. There is a beautiful river in ○○, so if we have lunch there, it will be refreshing and relaxing. Also, it will be fun to show our lunch to each other. I will bring a rice ball, <i>onigiri</i> in Japanese. We often eat it when we go on a picnic, so I want you to try it.
採点基準 A: 3つの選択肢のうち、どれが良いと思うかはっきりと示せる。更に、柔軟性をもって効果的な具体例や詳細を盛り込みつつ説得力のある理由を説明できる。複数人での話し合いの中での意見表明として必要十分な流暢さがある。 B: 3つの選択肢のうち、どれが良いと思うかはっきりと示せる。更に、ある程度効果的な例示や補足情報を加えながら、妥当な理由を簡単かつ明確に説明できる。自然な頻度での言い淀みもあるが、聞き手の理解に支障が出る程のたどたどしさはない。 C: 具体性や詳細度に欠けるものの、自分の選択とその理由の概要を話せる。文法や語彙の不適切な使用により内容や前後のつながりに不明瞭な点がある。やや頻繁な言い淀みや沈黙があり、意見表明としては内容・印象共に弱い。 D: 意見表明としては内容が断片的すぎる。文法や語彙の不適切な使用により不明瞭な点が多い。頻繁な言い淀みや沈黙があり、制限時間のごく一部でしか話していない。あるいは何か話すものの、自分の選択とその理由の関連が弱い。 (A：当該レベルより上、B：ちょうど当該レベル、C：当該レベルに少し届かない、 D：当該レベルに全く届かない)
開発段階 第1期（作成） 第1期（実施） 第1期（分析） 第2期（改訂） 第2期（実施） 第2期（分析）
メモ 話し合いの中でのやや独立した発言なので、スピーチほどのきっちりした構成や高い論理性や流暢性、厳密な時間遵守を求めすぎなくてよい。内容が十分で約40秒以上話せていればAもしくはB評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。
開発担当者 和泉 絵美

CEFR-J レベル

B1.1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だて、話しを広げながら、ある程度詳しく語ることができる。

あなたは英語で授業を行なう学校に進学するつもりです。志望校の入学試験に、英語での面接があります。面接室に入ると、面接官から次の問いかけがあります。

I think you have put a lot of effort into schoolwork, after-school programs, community service, and other activities in high school. Please choose one of them and tell me about it. You may want to describe its fun part as well as its difficult part, how you planned it and carried it out, and what you learned from the experience.

あなたはこの問いかけにどう答えますか。目の前に面接官がいると想定して話してください。なおこの面接では、(1)筋道立てて話ができること、(2)自分の考えを言えること、が評価されます。準備時間は3分、話す時間は1分です。

解答例

The most important part of my high school life was playing the violin in the local orchestra. We practiced every Saturday in the community center and gave a concert in November. Most members were adults who have been playing their instruments for many years. In fact, some of them graduated from music schools. It was tough to keep up with them, so I studied my part very hard at home. Then, other members noticed I was making an extra effort, and started to give me advice and words of encouragement. I learned that if I help myself, others help me. That is how I improved my performance skill.

採点基準

A：自分が熱心に取り組んだことについて、具体的な内容と自分の感想や考えを含めて、一貫性のある話をしている。文法をかなり正確に用いることができる。気になるような休止はほとんどない。

B：自分が熱心に取り組んだことについて、ある程度具体的な内容と自分の感想や考えを含めて、わかりやすく話を進めることができる。頻繁に使われる定型表現や文構造をかなり正確に使うことができる。時折、言いよどみや言い直しが見られる。

C：自分が熱心に取り組んだことについて話しているが、経験に関する具体性が欠けており、面接への応答として十分ではない。あるいは事実を羅列しており、自分の感想や考えを述べていない。簡単な文構造は正しく用いることができるが、依然として決まっておかず基本的な文法の誤りがある。言いよどみや言い直しが目立つ。

D：自分が熱心に取り組んだことについて話しているが、語彙がきわめて限られ情報量に乏しい。話す内容のいくつかの要素を結びつけることができず、断片的である。あるいは語彙や文法の基本的な誤りのためにほぼ理解不能である。休止が目立つ。

(A：当該レベルより上、B：ちょうど当該レベル、C：当該レベルに少し届かない、

D：当該レベルに全く届かない)

開発段階

第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析)

第2期(改訂) **第2期(実施)** 第2期(分析)

メモ

面接というフォーマルな場面であり、「筋道だてて」という指示があるので、ある程度頑健な構成が求められる。また、制限時間の遵守にも一定の厳密さを求める。内容が十分で約 50 秒以上話していれば、A もしくは B 評価とする。なお、解答例を理解できる発音で、目立った休止なく話せれば、A 評価である。

開発担当者

高田 智子

CEFR-J レベル B1.1
技能 Spoken Production
Can Do descriptor 自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語るができる。
テスト・タスク あなたは、夏休みの海外語学研修で英語学校に通っています。各国から集まっている学生は、それぞれ英語の学習に苦勞しています。そこで、ある日の授業で、“My way to improve my English skills” というタイトルで各自が短いスピーチをすることになりました。このタイトルに沿うように、自分の英語力の弱点や、それを克服するために行っている工夫や努力（お気に入りの勉強法や楽しく学ぶための工夫など）について話してください。準備時間は3分、話す時間は1分です。
解答例 - I'm not good at listening and speaking. I think I'm OK with reading and writing, but if someone talks in English very fast, I often can't understand what he or she is saying, especially when the topic is unfamiliar with me. Also, I tend to get nervous when I talk in English because I'm afraid of making mistakes. To overcome my weakness, I watch English programs on YouTube every morning and repeat the phrases I learn from the program. Also, I'm trying to make myself relaxed, saying to myself, "Don't be afraid to be wrong!"
採点基準 A: 自分の英語力の弱点をはっきりと示し、どのように苦手であるか明確に説明できる。更に、その弱点を克服するための工夫や努力について十分に話し、弱点と克服の工夫の関連性を明確に示せる。効果的に具体例や詳細情報を盛り込みつつ、しっかりとした構成で話せる。ショート・スピーチとして十分な流暢性がある。 B: 弱点や工夫について、適切な内容や構成で話し、弱点と工夫の関係を明確に示せる。ある程度効果的な具体例や詳細を盛り込んで説明できる。多少不明瞭な点や言い淀みがあったとしても、ショート・スピーチとして適度な流暢性がある。 C: 詳細度や具体性に欠けるものの、弱点や工夫の概要について話せる。文法や語彙の不適切な使い方により内容や前後のつながりに不明瞭な点がある。やや頻繁な言い淀みや沈黙があり、ショート・スピーチとしてはたどたどしい印象を与える。 D: ショート・スピーチとしては内容が断片的すぎる。文法や語彙の不適切な使用により全体的に不明瞭な点が多い。頻繁な言い淀みや沈黙があり、制限時間のごく一部でしか話していない。あるいは何か話すものの、弱点と克服のための工夫の関連が弱い。 (A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、D: 当該レベルに全く届かない)
開発段階 第1期(作成) 第1期(実施) 第1期(分析) 第2期(改訂) 第2期(実施) 第2期(分析)
メモ ショート・スピーチなので、ある程度しっかりとした構成が求められる。また、制限時間の遵守にも一定の厳密さを求める。内容が十分で約50秒以上話していれば、AもしくはB評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B評価である。
開発担当者 和泉 絵美